



農業振興センターだより

①新規会員を募集します！ 大崎町農業女性の会（仮称）

大崎町担い手育成総合支援協議会では、農業に関わる女性の持つ能力を十分発揮し、農業農村づくりに向けた活動を活発に行うことを目的に、平成22年3月に大崎町農業女性の会（仮称）を設立する予定です。

設立に伴い下記により会員を募集します。

・会員の要件

町内居住者で農業経営に関わっている女性、または農業経営に従事している女性パートナー（経営主の妻、家族）等

・募集期間 平成22年2月15日から随時

・問合せ先 大崎町農業振興センター 営農推進室

②3月の農業用廃プラスチック類の回収について

・回収日：3月2日（火）午前9時～午後3時まで（農協益丸選果場）

・回収品：廃プラスチック類・廃缶

農業で使用した廃プラスチック類の、適正な処理に努めましょう

③平成22年1月 子牛セリ市成績表(町内分)

	最高価格（血統）	平均価格	前月比
雌	738,000円（安福久×平茂勝×安平）	317,338円	+ 16,147円
去勢	655,000円（百合茂×安福久×神高福）	388,462円	△ 13,222円
全体	※ 価格はセリ価格（消費税抜き）です。	349,571円	△ 2,410円

2月の子牛せり市は2/22(月)～2/25(木)までの4日間です。

④家畜排せつ物の適正管理につとめましょう！（堆肥の野積みの禁止）

最近、田畑へ散布するための堆肥が、数ヶ月間畑に野積みされている状態が見受けられます。堆肥の野積みは、悪臭やハエ等の害虫の発生、さらには地下水汚染や河川への流出が心配されます。

以下の点をご理解いただき、堆肥の適正管理につとめましょう！

・堆肥は使う分だけ運搬し、散布後はすぐに耕運しましょう！

・屋外の堆肥については、流出や汚水の地下浸透のないように防水シート等で上下を覆い、風等で飛ばされないようしっかり固定しましょう！

⑤戸別所得補償モデル対策について（従来の水田転作のあり方が大きく変わります。）

I 自給率向上のための戦略作物等への直接助成

戦略作物 {麦・大豆・飼料作物・新規需要米（米粉用・飼料用・バイオ燃料用米・WCS用稲）・そば・なたね・加工用米}

その他作物（野菜等）二毛作助成（主食用米と戦略作物又は戦略作物同士の組合せ）

II 自給率向上の環境整備を図るための水田農業経営への助成

意欲ある農家が水田農業を継続できる環境を整えることを目的に、恒常的に生産に要する費用が販売価格を上回る米に対して、所得補償を直接支払いにより実施。

※平成22年2月8日から2月12日に実施いたしました農政座談会にて説明は行いましたが、出席できなかった方については、制度が変わっておりますので、農業振興センターへお問い合わせください。